広報てらどまり

新潟県三島郡寺泊町
寺泊町役場発行
編集：総務課広報係
全世帯もれなく配布

昭和39年10月25日発行 No. 31

10・11月のこよみ
- 戦没者追悼式（寺中）（10月25日）
- 文化の日（11月3日）
- 愛の血液助け合い運動（11月10～16日）
- 勤労感謝の日（11月23日）
- 寄生虫予防運動（11月21日～30日）

予算はどのように使われたか
昭和38年度町財政の公表

町では 収入役から提出された決算収支をこの九月に議会に提出し、認定をうけました。決算は、事前に監査委員が監査し、意見書をつけて議会に提出することになっています。決算の内容をふりかえってみて、それが適正であったかどうか、また、効果をあげ得たかどうかをみることは、それが町民みなさんの明るい豊かな生活を築くことになるだけに大切なことです。この年は、昭和36年以来の風水害による災害復旧もきまりがつき、中越地区工業開発構想の発表や、低開発地区決定など、大きく前進する町造りの下準備の年であったともいえるでしょう。

38年度財政白書
実施された主な施策

- 収入は順調に確保
- 道路橋りょうの整備進む
- 教育施設を充実
- 児童福祉施設完成
- 産業基盤の整備を計る
- 消防力を強化

一般会計は健全財政で終始
（千二百二十一万円余繰越）

歳入の状況

- 町税町人口一人当り平均三千六百三十八円
- 国からくる交付税町人口一人当り三千九百八十四円

国、県の補助金等町人口一人当り千百八十五円

- この年の長期借入金町人口一人当り百五十三円

町税
五千八百十八万円
徴収率は九四、二%とほぼ前年並の成績です。

地方交付税
国から六千四百七十八万円交付され町の大きな財源となりました。

財産収入
三十一万円ほぼ前年並の収入です。

使用料及び手数料
三百四十五万円 戸籍の謄抄本保育料、水族館の入場料等です。

国庫支出金
国からの事業に対する補助金負担金、委託金等が千二百七十七万円となっています。

議会のもよう

県支出金 六百五十二万円
寄附金 百二十九万円
繰越金 百三十七万円
雑収入 五百六十六万円
町債 二百五十万円

歳入は、町税の徴収率九四、二%を除けばいずれも目標に対し百%収納されました。

歳出の状況

町の人口一人当たり八千八百九十八円、

歳出はこれを**消耗的な経費**（人件費、物件費、公債費）と、**投資的経費**（教育、産業土木、保健衛生、社会福祉等）とわけられます。消費的経費と投資的経費の性質を考えてみますと、投資的な経費が多ければ多い程その町の事業は進展していることになります消費的な経費を出来るだけ切りつめて、投資的経費の比重を増し、よりよい町造りに努力致しました。

議会費
五百二十五万円

役場費
二千六百九十八万円
主として人件費、旅費、物件費、財産維持費、監査委員会費等です。

消防費
三百三十六万円
可搬式動力ポンプ3台を購入しその他器材の整備充実を図りました。

土木費
二千五百八十六万円
道路橋梁の維持改修、新設等八ケ所、砂利、六五〇坪、この他、道路等で国県経費負担工事では、総工事費で二千百五十七万円、港湾の改修保全浚渫等では二千六百万円となっています。38年以来の災害で未処理であったもの9件も、工事が完了し、ブルトーザー、ショベルカーの全稼働時間は二千四百九十八時間となっています。これは除雪、土地の整備、等に使われたものです。

教育費
二千八百八十一万円
重なるものは、机イス二七四組四十五万九千円、理科振興備品四百八十万円、産業教育振興備品設備の充実三十万円、本山小学校完全給食室三一九万円、寺中グランド整備百万円山野脇小学校に待望のプールが完成致しました。

社会及労働施設費
一千三百七十四万円
児童館の設置や、大町公園内に児童遊園地が設置され、児童福祉の面では、保育所の経営と共に、大きく前進しています。又失対事業は、就労人員八千人にも及び道路補修土地路補修発集事業に活躍しています。
国民年金の受領者は、八四七人、年間受領額は一千十七万円に達しました。

保健衛生費
五百七十六万円
前年度に引続き、赤痢予防特別対策が実施され、患者発生数は大巾な減少を来たしており、明るい健康な体ずくりをするため、予防衛生、環境衛生、母子衛生、公衆衛生の諸事業が積極的に行なわれております。

産業経済費
一千五百二十九万円
ここでは、農業委員会が新しい農業基盤の確立のため熱心な研究が続けられ、二五人の委員が活躍しています。又、農業研修所が開設され、農村の人造りが活発に行なわれました。主なものは産米改善委[illegible]たく四十万円ヘリコプターに[illegible]二十万円[illegible]十万円、[illegible]十五万円[illegible]等となっています。
商工漁業対策では、弥彦スカイライン関係改修に五十四万円、観光客誘致の諸対策が強力に実施され、街路灯二十灯に対して補助を行ない、並型漁礁が七十九万円で施行されました。このほか、産業育成資金として延二七九件、二千四百五十九万円が商工業者に貸出されました。水族館では、入場者、四四、九六八人が利用されています。

財産費
百七十二万円
町有建物の管理経費等がその主なものであって、補修、火災保険料がそのほとんどでありますが、この年度では、自動車一台購入五十四万円、新潟放送、農業信用基金等に出資したもの二十一万円児童館敷地購入十五万円等が経常的な支出以外に使用されています。

統計調査費
九万円

選挙費
八十五万円
この年は、県会議員、町会議員、農業委員（無投票）衆議院議員の各選挙が実施されました。

公債費
五百六十一万円
長期にわたって借入れている元金の返済二百九十二万円、利子二百六十九万円が支払れています。

諸支出金
一千百三十一万円
ここでは、嘱託員報酬、五十五万円税金を賦課徴収する費用百三十六万円水道、会計国保会計へ繰出すもの四百二十万円、各協議会等の負担金五百一万円工場誘致のための調査、費用等がその主なるものです。

以上、一般会計では収入で一億五千六百八十三万円、支出では、一億四千四百六十二万円となり、当初予定されていたものは百%実施され、効果をあげたものと考えます。収支の差引繰越金一千二百二十一万円は、39年度予算に貴重な財源として使用されることとなります。

町の財産

財政調整積立金 [illegible]
証券 [illegible]
出資金 [illegible]
土地 [illegible]㎡
建物 [illegible]㎡
機械器具 [illegible]
長期借入金 [illegible]

昭和38年度一般会計歳入歳出決算書

歳入 1億5,683万円
歳出 1億4,462万円
昭和39年度へ繰越1,221万円

歳入（単位万円）

科目	予算額	決算額	予算と決算の比	総決算額と科目別の比
			%	%
町税	5,575	5,818	104	37.10
地方交付税	6,282	6,478	103	41.30
公営企業財産収入	23	31	137	20
使用料，手数料	399	345	86	2.20
国庫支出金	1,412	1,277	90	8.14
県支出金	775	652	83	4.15
寄付金	187	129	100	35
繰越金	100	137	136	87
雑収入	534	566	106	3.61
町債	250	250	100	1.59
計	15,537	15,683	100.9	

歳出（単位万円）

科目	予算額	決算額	予算と決算の比	総決算額と科目別の比
議会費	544	525	96	3.63
役場費	2,808	2,698	96	18.65
消防費	368	336	99	2.32
土木費	2,781	2,586	93	17.88
教育費	2,968	2,881	97	19.92
社会及労働施設費	1,496	1,374	92	9.49
保健衛生費	653	576	88	3.98
産業経済費	1,708	1,529	90	10.56
財産費	225	172	77	1.19
統計費	17	9	53	06
選挙費	122	84	70	59
公債費	577	561	97	3.88
諸支出金	1,214	1,131	93	7.82
予備費	56	—	0	0
計	15,537	14,462	93	

特別会計の決算

国民健康保険
歳入 三千四百五十八万円
歳出 三千四百四十二万円
繰越 十六万円

数次にわたる医療費の値上げのため実質一般会計からの繰入六十万円を行なってようやく繰越金がでました。医療費は、昭和37年度と比較しますと、二千三百四十一万円から二千九百三十七万円と、約六百万円増加しており、39年度は再度の医療費の値上りで更に増加することが確実であります。これを保険税等と比較してみますと下の表のとおりになっています。

収入		支出	
(イ)・医療費に対する国の交付金 （イ）/（ホ） 53%	1,570万円	(ホ) 医療給付費 ・医師の請求により役場で直接支払った額	2,937万円
(ロ)・事務費・保健婦・助産費に対する国の交付金 （ロ）/（ヘ） 54%	186万円	(ヘ)・保健婦の事業費 ・保健給付事務費 ・その他	344万円
(ハ)・繰越金・国保に対する繰入金（診療所に対するものを除く）	535万円		
(ニ)・保険税 ・医療給付に対する割合 33.38%	1,006万円	(ト) 繰越金	16万円

この決算をふりかえってみて、昭和39年度以降の問題点をひろってみると、次のものが考えられます。

- 医療費が急増し総額三千六百万円にも達する給付が必要と考えられること。
- 蓄積してあった積立金が数年に亘り取りくずされ財源としてなくなって来たこと
- 従って一般会計よりの援助を行なうとしても保険税は増加する傾向にあること。

（医療給付費に対して保険税の割合は、七五%徴収することが標準であると法律の上で規定されています。寺泊町の実績は約三四%となっています）

・診療所
歳入 一千九十三万円
歳出 一千八十三万円
繰越 十万円

診療収入は、約八八百三十三万円となり診療件数も四、〇五三件と、医師一人では、なかなか多忙な実績をあげています、住宅焼失により、百五十七万円の支出が特別な経費として支出されていますが、この経費は臨時的なものですので経常収支では、歳入、歳出共ほぼ見合っていることになります。又間接的な予防保健対策もこのほか行なっているわけであり、年を追って地域の保健福祉に役立っています。

・水道事業
歳入 五千九百九十九万円
歳出 五千九百七十五万円
繰越 二十四万円

水道施設も一部を残し、全般に水道がゆきわたっておりますが、その利用状況をみますと、一世帯当り、月額、四百八十円程度であり、より高い文化生活水準からするとまだ低いのではないかと思います。

財政面に於ても次の通りで、今後、長期借入金の返済額が一千二百万円に達することからすると、合理的な運営を一層計って豊富な、良質な飲料水を各家庭におとどけする、公的な使命を、達成したいものと考えています。

決算内容
(イ) 水道使用料 一千三百七十七万円
(ロ) ・繰入金 二百 万円
・繰越金 二百五十九万円
・町債 四千 万円
・その他 四千六百二十二万円
(ハ) ・職員給与
・維持修繕
・その他経常的な費用
五、四七万円
(ニ) ・工事請負費 四三、三一万円
(ホ) 長期借入金の返済 一〇、九七万円

臨時を除いた経常的な収支計算
収入
水道使用料 一千三百七十七万円
支出
一般経費 五百四十七万円
借入金返済 一千九十七万円
不足額 二百六十七万円

タバコは町内で買いましょう。

みなさん、ごしょうちのとおり、タバコ消費税は第収入の八・八%であります。今年は災害等の関係が少し減りましたが、これを昨年なみに今一歩がんばり、これから、タバコは町内の売店より買いましょう。

× × ×

のずみの開田にみのるいね

野積開拓地に稔りの秋

多年の懸案であった野積の開田事業も幾多の困難をのりこえて今年ようやく作付の運びとなった。

工事は一面の砂浜に二〇糎位の客土をなし、水持をよくして水田を作ったものだが、客土に使った土は大河津分水の堀上土であって殆んど風化はしておらず岩石等が混入しておって耕土としてはまことに条件の悪い状態であった。

希望に燃えた開拓者もこの様子をみて不安な気持で作付の準備にとりかかったが、耕耘整地等が思うように進まず田植の時期もなかなか定めにくかったので苗代の準備や播種がはかどらず、結局六月中旬一応田植の時期と定めて作業を進めた。

開拓者の懸命な努力によって田植の六月中旬にはどうやら耕耘整地も見通しがついて、整地の終ったところから田植が始められた。水不足と耕土の悪条件から植付が非常に困難で、とても指だけでは植込めず、いちいち小鏝で穴をあけて行ったのであって、この苦労は筆舌にはつくしがたいものと考えられる。

予想以上に植付の出来る田が出来て嬉しいひめいと云うか、苗が足りなくなり県の世話をお願いして直江津方面から苗の移入を行ったが、最終の田植は七月十二日となった。

早植のものと晩植のものとは二十日間の開きがあって、おそ植のものはとても収穫は見込まれぬとなかばあきらめておったのであるが、思いのほか活着並びに生育が順調に行なわれ、見事な出穂をみることができた。

熟期は一般の田より平均に二十日位遅れたが仲々みのりがよく九月末近くなって稲刈が始められた。

一面の砂丘地が平和な緑にぬりかえられ、更に黄金色と移り変ってまことに夢のような感じである。

農業改良普及所の協力を得て坪刈りを行ったところ、最低一反当り二・五俵、最高七俵位で平均三俵以上の収穫が見込まれた。

適期の植付と管理をすればかなりの収穫が期待出来ることが分って開拓者に大きな力づけとなった。

今後反当七俵の生産があると仮定しても開拓地全体からは二八〇〇俵の生産がある訳で、大きく農業生産が前進したわけである。

海のある田園風景は又他に見られぬながめである。

↑ みごとな〝ホ〟をつけた野積の開田

学校給食のパン工場できる

町では、年次計画で各学校に完全給食を実施していますが、主食になるパンの製造を引きうけてくれる業者をお願いするのが大変で、施設の改造をしなければならない、加工賃、輸送賃は県で認められている価格ではあわないなどの理由でいろいろむづかしい問題がありましたが昨年度から、町内九ケ校の学校とPTAで研究され、全学区民の負担と町の補助金でパン工場が寺泊小学校内に設けられました。

工場は、方々の工場を視察研究し近代的機械設備をとり入れました。

主なる機械は

(1)ミキサー（65万円）五百人分の粉が三十分でこねられます。
(2)二口分割丸目機（45万円）きまった目方に丸められてつぎつぎに送り出されます。
(3)整形機（28万5千円）丸められたものが小型のコッペの形になってでてきます。
(4)ホイロ（むし部屋）小さなコッペがどんどん大きくなります。
(5)パン焼窯（47万円）百八十個のパンが二十分でき上がり、子供たちの前にあらわれるわけです。

九月五日から焼いていますが藤井技術者他三人の女の従業員の努力で、なかなかうまいパンができて好評です。

これからもいろいろの困難が考えられますが、この仕事が全町の子供の健康につながる仕事でありますので、町行政の一貫として強く援助協力の手をさしのべてゆきましょう。

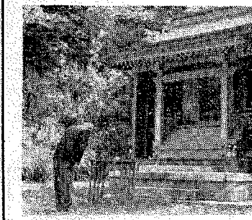
← 完成したパン工場の内部

寺中に完全給食

木の香の高い給食室が寺泊中学校に新築され九月七日より待望の給食が開始されました。

パンの分配や、おかずの盛りつけは総て生徒の手でスムースに行われ各学級の雰囲気はいままでより一層明るくなり父兄の間でも喜ばれております。

越の浦神社のお祭


聚感園の神殿に参拝される町長さん

越の浦神社のお祭が去る9月12日聚感園の神殿で、当時の順徳上皇さまのお心をお偲びしてはるかに見ゆる佐渡ケ島を望みながら、おごそかに行われました。9月12日は佐渡の行宮で御年四十六才でおなくなりになった日です。

順徳上皇は、今から七百年昔承久三年佐渡へ配流されるとき五十嵐家（今の聚感園）にご滞在なされたことはあまりにも有名でございます。明治時代には故本間健四郎氏等町有志が聖地保存計画に努力され、御遺蹟碑御製碑などが建設されました。その後、刈部揆吾氏が神殿の寄進をなされ、設計は東京の伊東工学博士で昭和十五年七月五日に竣工、経費は当時の金で総額金五千数百円を刈部氏が寄附され、出来あがったものであります。

裕田で農地を集団化

農地の交換分合の計画が裕田部落で現在すすめられています。

これは、各農家の分散して、散在している耕作地を各人の耕作地に出来るだけまとめて、農作業の能率をあげようとするものです。また、これは土地改良法によって行われるので、実施の手続や登記は農業委員会でやり登記の登録税は免除されます。

このように国で農地の基盤整備に力をいれているのは、農業振興の最も大切な「もと」になる事業だからなのです。部落では裕田地区交換分合実施計画委員会をつくって熱心に準備作業をすすめ現在まで8町9反の交換予定が計画されています。（部落耕地の約30%）しかし、これはなかなか大変な仕事で、寝ても覚めても思わないことのないのは自分の農地で貧乏して食えなくなり最後には、最愛な娘売ろうか、農地売ろうかと迷う程強い執着心のある土地を、農業発展のためと、わかっていても他人と土地と交換しなければならないという交換分合は、農家にとっては、口には、いい易く、行ない難いものであり、土に汗した者でなければ、到底分るものではありません。しかし裕田部落22戸の人達は、一致団結して、農家経営のマイナスを考えたのです。耕地図を、まず造って自分の耕作地が、どことどこにあるかを、色をつけて見ました。[illegible]如何に耕作のために、あっちこっちと歩き廻っていたかと考えさせられました。それも、自分ばかりでなく他人も同様、別々の色でまるで耕作図がピカソの絵のようになって見えるのです。目が廻るようです。それだけみんなの農家が文字どおり「右往左往」して耕作して廻っているマイナスを強く感じ、民主的に部落から計画推進委員をあげて、地域の人たちと、話合い、相談をして、調査や検討を重ね、合理的な交換分合にふみきったというわけです。町農業委員会でも、これに協力してかかる経費を負担したり町の事業として取りあげ、町交換分合委員会を設置したりして、この事業が、スムーズに行くよう努力、町の新しい農業発展のモデルケースにして行きたいと考えています。が、外の部落でも希望があったら進んで計画をたてて農業委員会に相談してください。

（町農業委員会）

道路交通法の一部改正

九月一日より道路交通法が次のとおり改正になりましたので車輌を運転される方は事故をおこさないようご協力ください。

・改正の要点

一、道路の左側部分の左側を通行すること。
二、軽車輌の併進に禁止された自転車などは2台ならんで進行することはできなくなった
三、他の車に追いつかれた時の車の義務
最高速度が高い車に追いつかれたときは、その車が追越しがすむまで加速してはならない。
四、第一種バイクの右折は、右小廻りに改正された。
五、左側部分通行規定のうち、追越しのため、道路の右側部分に、はみ出すことのできる道路の片側の巾員は3メートル未満から6メートル未満になった。
六、車輌の横断は、右横断する場合はあらかじめその前からできる限り、道路の中央により徐行する。
七、停車及び駐車を禁止する場所に、新たに坂の頂上附近、勾配の急な坂、トンネルの中横断歩道の手前の側端から前に五メートル以内の部分を加えられた。
八、車輌が故障等で踏切において運転不能になった場合、運転者は、非常信号や、鉄道職員又は警察官への通報及び踏切外への移動に必要な方法をとらなければならない。
九、追越禁止場所において軽車輌を除く車両を追越してはならない。踏切、トンネルの中、横断歩道の手前30メートル以内を加えた。
十、罰則の強化
(イ)酒酔い運転の違反については六カ月以下の懲役。
(ロ)交通事故の発生の届出をしない者は3年以下の懲役又は10万円以下の罰金となった。

選挙法の一部改正

公職選挙法改正の一部をお知らせいたします。

一、補充選挙人名簿について
この十月一日から年令満二十才に達した方および本町に住所を移した方は何時でも本人に限って登録申出ができることになりました。

二、立候補の届出について
立候補の届出期間が四日間に短縮されました。また、届出には戸籍の謄本または抄本を添えなければならないことになりました。

三、その他選挙運動について、若干の改正があります。くわしいことを知りたい方は選挙管理委員会におたずねください。

赤ちゃんと共に
―保健婦の手記―

私が保健の仕事について、はじめて手がけたのは、母と子の健康管理でした。やらねばならないことは、それはもうたくさんありました。まず、妊娠中の母体の健康と、可愛い赤ちゃんの正しい育児の指導から出発しました。

はじめての「乳児検診」その時お母さん方に抱かれてきた赤ちゃんの顔！顔！が今も懐しく浮んできます。

その後4年目の夏にその赤ちゃんたちが、すくすくと成長し全国一斉に実施された「三才児検診」を受けにきました。その元気な幼児達が、もう来春新一年生となります。このたび、稲葉の通知書をかきながら今更に月日の経つのは早いものでという感じを深く抱きました。

赤ちゃんのときに判らなかった、先天的な病気の発見が主な目的で行われた三才児検診も、この秋で五回をむかえ、その受診数も四百人となり、そのうちかくれていた病気の発見が十人でしたが、現在では皆んな元気な良い子に成長していますことは全く嬉しいことと存じます。

保健婦として共にその健康を案じ、乳児検診に泣声や文愛らしい笑顔に接し、保健婦ならではの喜びや苦しみを幾たび味ったことでしょう。

また、これまでの間に、弱い子供さんのための療育医療という子供に対する暖い制度がどしどし出来、この為に何人かの幼い子供さんが救れたことか。…

少しづつだけれど母と子の健康管理という初期の目的に近づいてきました。

これからも乳児検診、妊婦検診、母親学級、正しい家族計画予防接種、結核検診等、健康福祉を充実して、赤ちゃんと、お母さんが、健康で明るく暮せるよう、そしてまた、来年も、来年も、新しい一年生を元気に送り出せるよう、お母さん方と共に喜び合い、悲しみ、苦しみ合える保健婦として、日々町の保健行政につとめて行きたいと願っています。

川をきれいに

用排水路にゴミを捨てないようにしましょう。川は農家にはもっとも大切な存在で、川のお陰で、作物を稔らせたり、恐しい洪水を防いでくれたりする大事な役割を忘れてはなりません。

北部土地改良区では、みなさんの耕作をまもるために毎年用排水路の整理や、泥浚など、常に川をきれいにしているにもかかわらず、とかく河原や橋詰にゴミなどが捨てられており、そのため、通水が出来ずにこれによって、もしひとたび豪雨などになれば大へんなことが起き、大洪水のために耕地が大損害をこうむり、一年中の労を文字どおり水泡に来したりすることになるのです。

みなさん一人一人が自分の耕地を愛するように、川をもっと愛し、常に用排水路の活動がさまたげられないよう協力しようではありませんか。

ゴミは役場の車が、指定した場所へ集めにまいりますので、そこへやるか、また河原か空地で焼却して絶対に川の中へ投棄しないでください。

（北部土地改良区）

郷本青・大河津中
3年連続優勝

秋晴れの好天にめぐまれた10月11日（日）町主催による恒例の町内めぐり駅伝競走が、町内の職場を始め青年団、中学生、高校生などの20数チームの参加により盛大に行われました。

午前9時まずAグループの中学生、高校生による10数チームが号砲により一せいにスタートすれば、それより5分後つづいて役場前を職場や青年により、Bグループ10チームがスタートしました。年友温泉、夏戸小、大河津小、法崎とバトンをタッチし、全長一七、八キロを走りぬき、みんなの声援する役場前に、まず大河津中が1時間6分33秒という好記録でゴールインいたしました。なかでも中元組、役場、農協などの職場より参加したチームのけんとうにおしみなくさかんな声援がおくられていました。

成績は次のとおりです。

Aグループ
優勝 大河津中Bチーム 1時間6分33秒
2位 巻高ラグビー部 1〃6〃35〃
3位 寺中Aチーム 1〃7〃19〃

Bグループ
優勝 郷本青年チーム 1〃10〃10〃
2位 中元組チーム 1〃13〃40〃
3位 本山連青Aチーム 1〃14〃40〃

力走する選手 ゴールイン直前